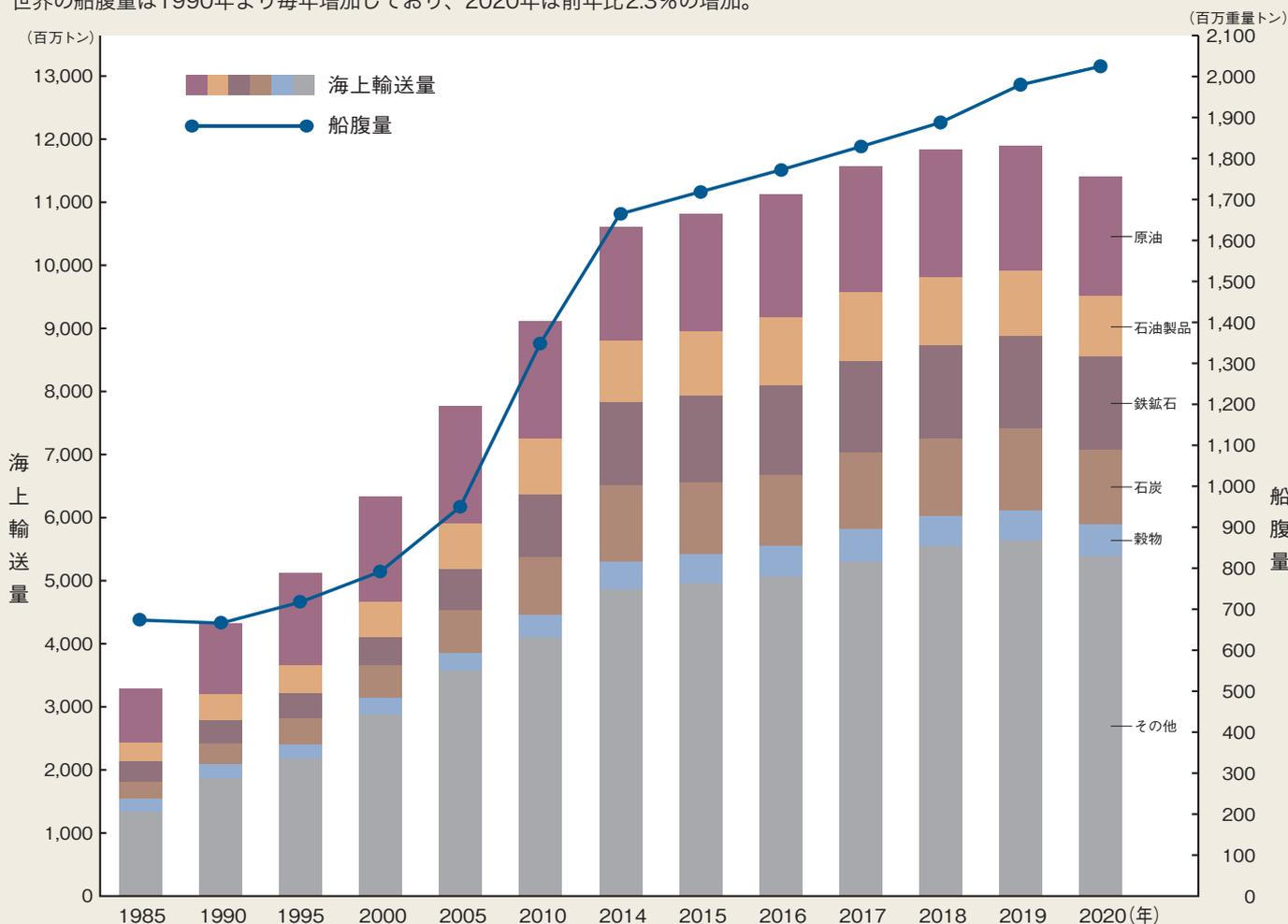


## 1 世界の主要品目別海上輸送量と船腹量の推移

世界の海上輸送量は、1985年より右肩上がりで続いていたが、2020年は新型コロナウイルス感染症の影響等により前年比4%の減少。世界の船腹量は1990年より毎年増加しており、2020年は前年比2.3%の増加。



2020年において世界の主要品目別海上輸送量は、石油25.1%を占め、鉄鉱石12.9%、石炭10.4%、穀物4.4%となっている。近年ではコンテナ貨物を含む其他貨物の割合が増加し、2020年では47.3%を占める。

出典：Clarksons [SHIPPING REVIEW DATABASE]、IHS [WORLD FLEET STATISTICS]、Lloyd's Register of Shipping [STATISTICAL TABLES]、Fearnleys [REVIEW]

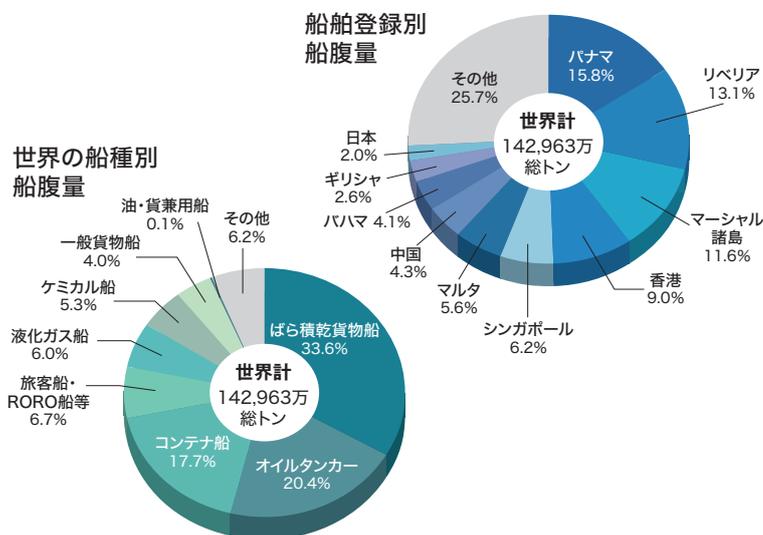
世界の主要品目別海上輸送量(百万トン)									船腹量 (百万重量トン)	
年	品目	石油			鉄鉱石	石炭	穀物	その他	合計	合計
		原油	石油製品	計						
1985		871	288	1,159	321	272	181	1,360	3,293	674
1990		1,133	415	1,548	356	331	195	1,855	4,285	667
1995		1,460	446	1,906	404	402	193	2,197	5,102	718
2000		1,682	563	2,245	447	509	230	2,881	6,312	792
2005		1,892	709	2,601	660	671	248	3,557	7,737	951
2010		1,891	872	2,763	990	926	319	4,087	9,085	1,349
2014		1,799	941	2,741	1,340	1,217	409	4,800	10,506	1,665
2015		1,872	1,011	2,883	1,364	1,137	430	4,922	10,736	1,718
2016		1,955	1,057	3,012	1,418	1,141	450	5,043	11,064	1,772
2017		2,017	1,072	3,089	1,473	1,201	476	5,277	11,516	1,828
2018		2,028	1,083	3,111	1,476	1,263	475	5,503	11,828	1,883
2019		2,006	1,029	3,036	1,455	1,292	477	5,618	11,877	1,979
2020		1,894	962	2,856	1,467	1,189	499	5,385	11,396	2,025

(注) ①海上輸送量について1985年はFearnleys [REVIEW] 各年版。 ②1990年までの船腹量については、Lloyd's Register of Shipping [STATISTICAL TABLES] 各年版による年央値であり、1995年以降はIHS [WORLD FLEET STATISTICS] による年末値である。 ③1995年以降の船腹量は、漁船等を除いた値である。 ④端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

## 2 世界の国別・船種別船腹量

世界の船舶登録国別船腹量はパナマ、リベリア、マーシャル諸島等が上位を占める。船種別では、ばら積乾貨物船、オイルタンカー、コンテナ船の順となっている。

出典：IHS「WORLD FLEET STATISTICS」



世界の船種別船腹量 (順位)

(注)2020年末の数値。

順位	船種別	万総トン	構成比 (%)
	世界計	142,963	100.0
1	ばら積乾貨物	48,067	33.6
2	オイルタンカー	29,157	20.4
3	コンテナ船	25,283	17.7
4	旅客船・RORO船等	9,546	6.7
5	液化ガス船	8,589	6.0
6	ケミカル船	7,615	5.3
7	一般貨物船	5,782	4.0
8	油・貨兼用船	110	0.1
	その他	8,814	6.2

船舶登録別船腹量 (順位)

順位	国別	隻数	万総トン	国別保有割合 (%)
	世界合計	123,488	142,963	100.0
1	パナマ	8,187	22,643	15.8
2	リベリア	3,948	18,753	13.1
3	マーシャル諸島	3,815	16,573	11.6
4	香港	2,596	12,891	9.0
5	シンガポール	3,100	8,822	6.2
6	マルタ	2,097	8,051	5.6
7	中国	6,927	6,203	4.3
8	パハマ	1,288	5,909	4.1
9	ギリシャ	1,319	3,716	2.6
10	日本	5,308	2,882	2.0
11	キプロス	1,057	2,330	1.6
12	デンマーク	652	2,216	1.6
13	インドネシア	10,312	2,084	1.5
14	ノルウェー	686	1,743	1.2
15	ポルトガル	610	1,710	1.2
16	イタリア	1,477	1,436	1.0
17	マン島	311	1,320	0.9
18	米国	3,051	1,294	0.9
19	韓国	5,725	1,194	0.8
20	イラン	1,102	1,184	0.8
	その他	59,920	20,009	14.0

(注) ①中国には、香港及び台湾を含まない。

②各国の海外自治領、第二船籍制度については本国の船籍に含めた。

③2020年末の数値。

④端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

## 3 アジア各国の支配船腹量

アジア主要国の船会社が運航する船の船腹量が世界の44.0%を占め、その中でも、日本、中国の割合が51.3%を占める。

出典：UNCTAD「REVIEW OF MARITIME TRANSPORT」 (注) 2020年1月の数値。

	隻数	船腹量 (千載貨重量トン)			外国籍船割合 (%)	世界シェア (%)	アジア主要国シェア (%)	
		自国籍船	外国籍船	合計				
アジア主要国	日本	3,910	36,805	196,330	233,135	84.21	11.4	51.3
	中国	6,869	99,484	128,893	228,377	56.44	11.2	
	韓国	1,615	14,403	66,180	80,583	82.13	3.9	48.7
	香港	1,690	72,505	28,452	100,957	28.18	4.9	
	シンガポール	2,861	74,754	62,546	137,300	45.55	6.7	
	台湾	990	6,636	44,255	50,891	86.96	2.5	
	マレーシア	620	6,379	2,165	8,544	25.34	0.4	
	インド	1,042	16,800	9,035	25,836	34.97	1.3	
	インドネシア	2,208	22,301	1,604	23,906	6.71	1.2	
	ベトナム	1,060	8,391	2,357	10,748	21.93	0.5	
アジア主要国合計	22,865	358,458	541,817	900,277	60.18	44.0	100.0	
アジア主要国以外	30,096	218,483	929,218	1,147,698	80.96	56.0		
世界合計	52,961	576,941	1,471,035	2,047,975	71.83	100.0		

(注)対象船舶は1,000総トン以上の船舶である。

## 4 世界の商船建造量

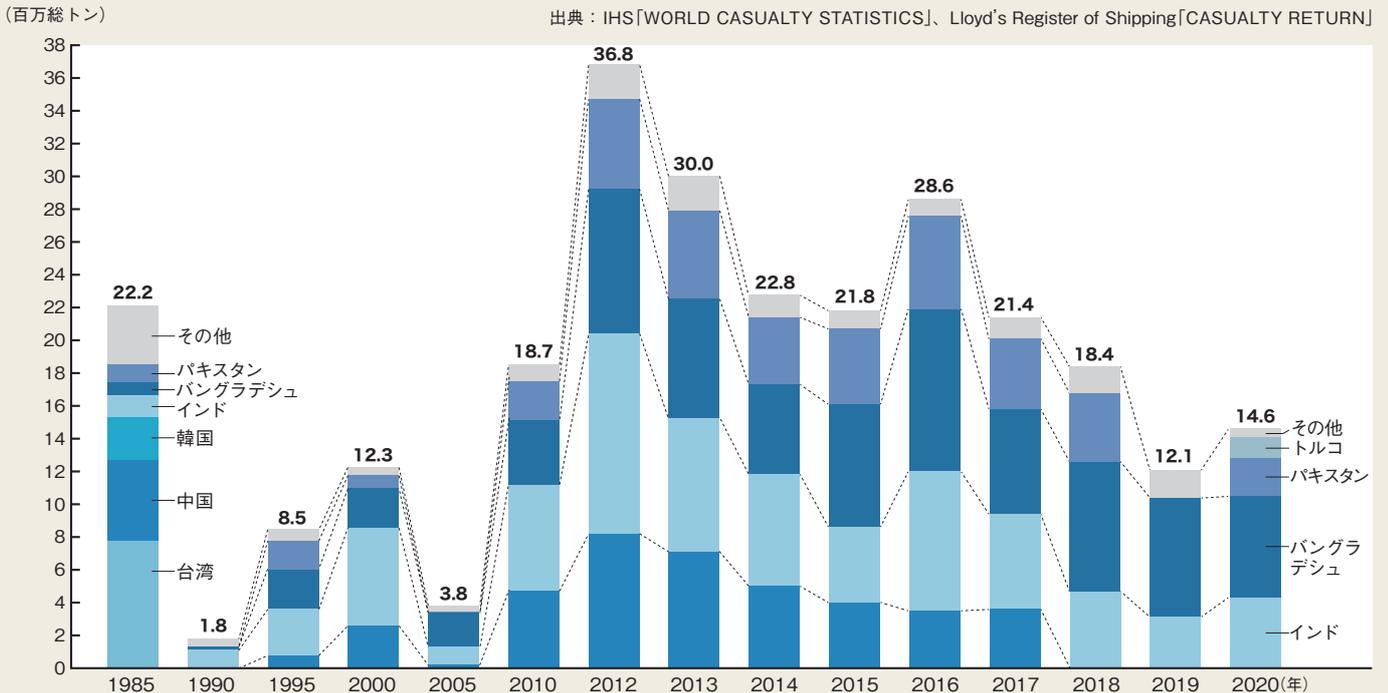
2020年の日本の商船建造量は1,294万総トン。日本と韓国、中国が世界の約9割を占める三大造船国となっている。



(注) ① ヨーロッパ内の主要造船国は、ルーマニア、ドイツ、フランス、イタリア等。2011年以降、ヨーロッパは34カ国で算出。  
 ② その他に含まれる主要造船国は、台湾、インド等。  
 ③ 1995年の中国建造量は、その他を含む。

## 5 世界の船舶解撤量

2020年の世界の船舶解撤量は1,462万総トン。国別では、インド、バングラデシュが多く、この2カ国で72%を占めている。



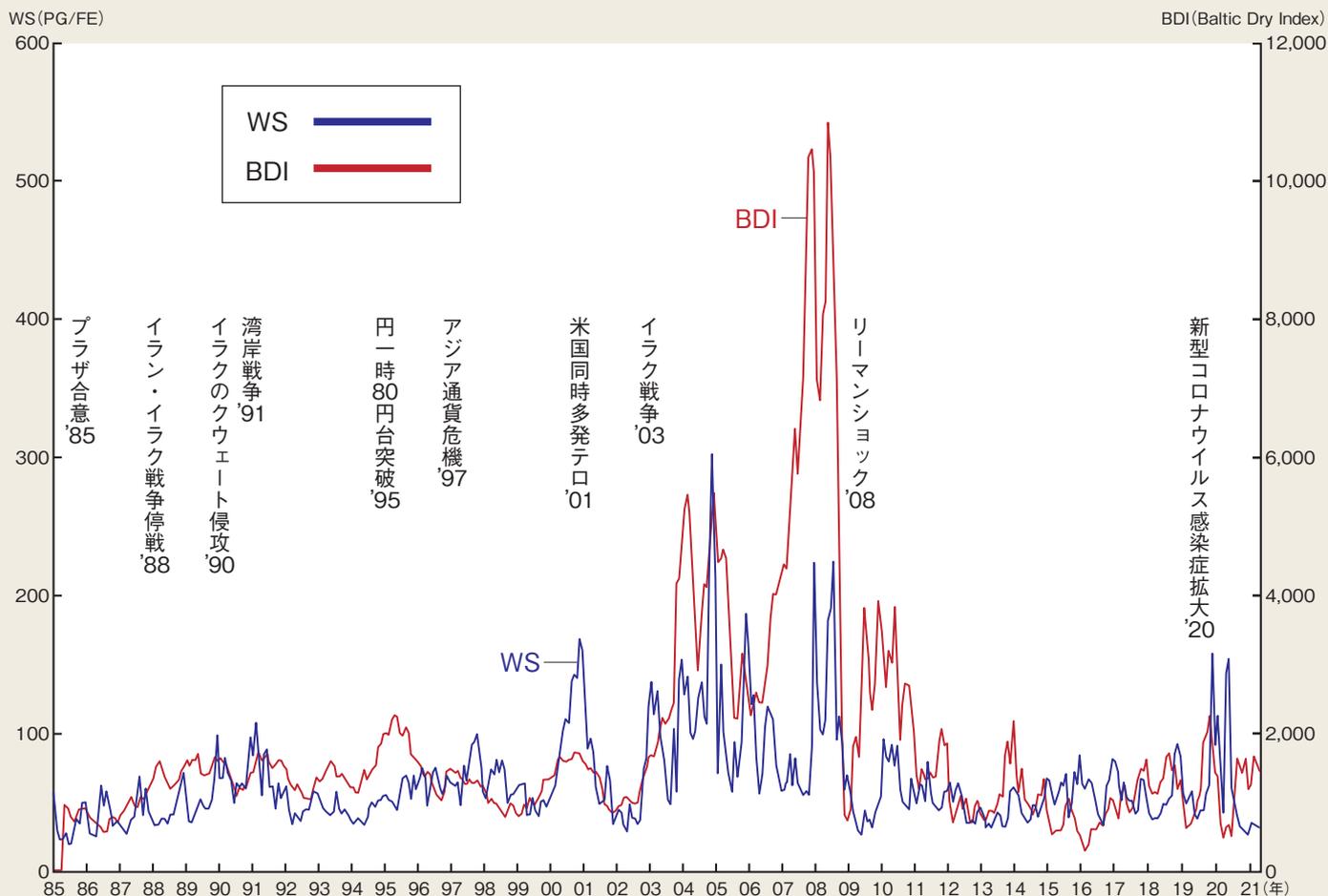
(注) データについて「CASUALTY RETURN」各年版(1993年以前)、「WORLD CASUALTY STATISTICS」(1994年以降)の数値。

## 6 海運市況

2020年の不定期船市況は、上半期は新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞と産地の天候不順の影響などで低迷したが、下半期は鉄鉱石等の輸送需要の高まりにより持ち直した。2019年のBDIの平均は1,341であったが、2020年は1,056であった。一方、2020年のタンカー市況も新型コロナウイルス感染症の影響で原油需要が減少し大きく下落した。洋上備蓄需要が高まり一時的に市況は急騰したもの、備蓄需要の解消や産油国の協調減産の継続により、市況の低迷が続いた。

出典：TRAMP Data Service [WORLD MARITIME ANALYSIS]

作成：(公財)日本海事センター



(注) ①BDI (The Baltic Exchange) 及びWS (中東／極東) は、TRAMP Data Service集積資料による。

②BDI (Baltic Dry Index)：乾貨物の海上輸送運賃指数(総合指数、1985年1月を基準 (=1,000))

The Baltic Exchangeが毎営業日に、ドライマーケットの成約情報を1985年以来、一定の基準で継続発表している指数であり、乾貨物運賃の変動推移を示している。

③WS (World Scale Rate) はVLCC (24万D/W)、積地は中東、揚地は極東。